

# 令和 8 年度第 1 回秋田県地域公共交通活性化協議会の概要

日 時 令和 8 年 6 月 2 3 日（火） 午前 1 0 時 3 0 分～正午  
場 所 秋田県教育会館 3 0 3 ・ 3 0 4 会議室

## 【概 要】

### 1 開 会

委員 2 4 名中代理を含む 2 1 名が参加し会議が成立

### 2 あいさつ

秋田県観光文化スポーツ部本郷次長があいさつ

北海学園大学工学部社会環境工学科の日野教授があいさつ

福島大学経済経営学類経営学コースの村上准教授があいさつ

秋田県観光文化スポーツ部本郷次長が議長として議事進行

### 3 議 題

#### （1）県内公共交通の現況について

資料 1 に基づき、事務局から説明

#### 《意見・質疑等》

特になし

#### （2）秋田県地域公共交通計画の策定について

資料 2－1～3 に基づき、事務局から説明

#### 《意見・質疑等》

由利高原鉄道株式会社

高等学校アンケート調査について、鉄道利用後、駅から自転車で通学するケースが多いと感じるため、そのことを踏まえた調査をしていただきたい。

KCS

鉄道から自転車といった実際の移動実態を把握できるような調査表を設計していきたいと思う。

村上准教授

資料 2－2 について、総合計画との整合性を図った指標として、路線再編の場合は導入数ではなく、実際の利用者数や利用率を指標として掲げて良いと思うが、いかがだろうか。

秋田県観光文化スポーツ部交通政策課

必ずしも資料に記載の KPI だけではないため、利用率等を含めた KPI を検討していきたい。

村上准教授

福島県では、近しい取組のコミュニティ交通を導入したが、ほとんど利用されずに終了した事例があるため、利用実態の KPI も検討していただきたい。

日野教授

コミュニティ交通は有効的ではあるが、導入後の利便性を高めて交通を維持する方法として、コミュニティ交通以外の手段もあると思う。コミュニティ交通の導入数を KPI にすると、導入すればよいという誤ったメッセージを伝えかねない。IC カードを導入していない路線があり、すべてを網羅できるわけではないため、乗り込み調査と併用することで近年の傾向等を把握することが可能である。IC データと実態で補正値も確認できるため、事業者が持っている IC データを利用できないかと思う。

秋田県観光文化スポーツ部交通政策課

コミュニティ交通の導入数を設定した趣旨として、路線バスの利用者数や乗車密度が低下しており、住民のニーズに即したコミュニティ交通へ再構築することにより、利便性の高い交通ネットワークを形成していくという考えがあった。ご指摘を踏まえて、より利便性の高い交通ネットワークを維持していくために、どのような KPI が良いのか検討をしていきたい。

KCS

バスの利用実態調査は特定の平日 1 日のみのデータになるため、利用状況等を整理している IC カードのデータを活用させていただけるのであれば、利用実態調査と兼ね合わせて IC データも活用し、分析することは可能である。なお、IC データは交通事業者様からご提供いただくようになるため、ご提供いただける体制等を別途、協議調整する必要がある。ご提供いただければ、他の自治体で IC データを活用した利用状況の分析等を行っているため、弊社で分析等は可能である。

日野教授

IC データの分析は大変だが、できればやっていただきたい。指標については、計画の中で意図が伝わるような形であれば良いと思う。

議長

大館市は昨年度に地域公共交通利便増進実施計画を策定しており、バス路線

再編等進めていると思うが、今回の秋田県の計画を策定する上でご意見等あるだろうか。

#### 大館市建設部都市計画課

今後の計画策定については、国土交通省の地域公共交通計画のアップデートガイダンスにおける幹枝葉のネットワークの考え方を推し進めていきたいと考えている。県で策定される本計画については、広域を結ぶ交通ネットワークの幹となる重要な部分である。この幹となる広域路線に対して市町村が担うフィーダー路線やコミュニティ交通といった枝葉の交通をどのように連携させていくのかについて、具体的な方策やビジョンを次期計画に盛り込んでいただきたい。アンケートに関して、令和9年が大館市の計画の終期であり、計画策定の準備として今年度アンケート調査を実施する予定である。高校生を対象にしたアンケートを考えているため、事前に内容を共有いただきたい。

#### KCS

今回ご提示させていただいたものは、高等学校へのアンケート調査になっており、調査対象が異なるが、連動して実施するのは重要である。調査表は秋田県と協議調整の上、別途秋田県より調査実施前にご提供できればと思う。

#### 議長

JR 東日本で計画に対する意見等あれば伺いたい。

#### 東日本旅客鉄道株式会社秋田支社

鉄道が地域の皆様の生活や観光振興を支える重要な社会基盤である認識のもと、今後も安全安定輸送を最優先に努めて参りたいと思う。また一方で、人口減少や乗り場の減少の進行により地方のローカル線を取り巻く経営環境は極めて厳しい状況である。その中で、今年3月に策定された県の総合計画でも、JRローカル線の持続的な運行の確保に向けた具体的な目標設定をしていただき感謝している。持続可能な地域交通を実現するには、バスやデマンド交通等を含めた地域全体での公共交通ネットワークのあり方について、鉄道の活用を含めて、自治体の皆様や秋田県の交通事業者が連携しながら検討していくのが重要である。現計画の地域公共交通計画が令和4年3月に策定されて以降、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律、いわゆる地活法が改正され、赤字が続くローカル線についての新しい基本方針が示されている。この4年間で県人口は約7万人減少し、公共交通を取り巻く環境もより一層変化していると認識している。今回の計画策定への参画を通じて、地域の皆様とともに秋田県にふさわしい持続可能な公共交通財源構築に取り組んで参りたい。なお、秋田支社に関して、来月から秋田事業本部という名称に変更になり、より秋田県に特化した機関として再出発していく。

議長

今年度の策定の進め方に沿って、皆様にご協力いただきながら、進めていく。

### (3) 地域公共交通計画（地域間幹線系統）について

資料3-1～4-3に基づき、事務局から説明

#### 《意見・質疑等》

##### 秋北バス

令和7年度実績で輸送量15未満が大館・小坂線と能代・八竜線の2路線である。補助年度は10月から9月となるが、直近の4月から3月末の実績でも輸送量は15未満であり、補助を維持するのは厳しく感じる。国の幹線系統から落ちると維持が大変になるため、沿線市町と協議を行い、良い方向にしていきたい。大館・小坂線は鉄道が全くない路線であり、能代・八竜線は一部鉄道があるものの途中からなくなる路線のため、非常に重要な系統である。国や県から様々なアドバイスを受けながら最善策を検討していきたい。

##### 秋田中央交通

五城目線が減便のために補助から外れた。輸送量だけでなく、密度の関係で補助金の減額が生じる状況であり、輸送量15以上を保つためにも増便は出来ないため、ご理解いただきたい。現状路線の廃止は考えていないが、運転手不足もあり便数がかかり減ってきている。利便増進の観点から、全体を減らすのは違うため、利用者にはご迷惑おかけするが廃止できる路線を廃止して、利用者が多い路線を運用していくという考え方も今後必要になると感じている。極端な赤字路線を残していくと、運賃改定のスパンが短くなったり、上げなくてよい路線の運賃を上げたりするようになる。

##### 秋田中央トランスポート

令和7年度までは輸送量15以上を確保しているが、八郎潟五城目線が危うい状況である。大潟八郎潟線は小学生、八郎潟五城目線は高校生のスクールバスも兼ねているが、生徒数の減少等の影響により輸送量も令和2年度と比較すると減少しているため、補助対象となるような施策を協議していきたい。乗務員不足もあり、先日30代の方が1名退職したことにより高齢化も進んでいる。運行するために必要な運行管理者や運行監督者は昨年不足していたが、年明けから各営業所で1名ずつ新規採用があり講習も受講済みである。人員関係に関しても今後課題になると思う。

##### 羽後交通

資料4-3の通りであるが、要件緩和で補助を受けている路線がほとんどであり、路線の沿線に鉄道が並行しているため増収対策が難しい状況である。高校

生の需要に対して答えられるように力を入れているが、少子化や送迎が増えて  
いるため苦戦している。来年の要件緩和はない前提で検討を進めていかなけれ  
ばならないと思っており、沿線の市町村の方と良い方向に検討していきたい。

議長

ご質問等無ければ、地域公共交通計画については承認することで良いか。

委員一同

異議なし

《議 決》

「地域公共交通計画（地域間幹線系統）について」は承認された。

#### 4 その他

《情報共有・質問等》

村上准教授

非常に苦しい面もあると思うが、今後の維持確保に向けての取組を前向きに  
進めていければと思う。調査の予定もあり、その結果を見ながら今後の維持確  
保に向けて検討していきたい。

日野教授

地域部会でもお伝えしたが、これから策定するのは秋田県の計画になるた  
め、県として地域の交通で何ができるのか何をすべきなのかの部分も計画に  
含める必要がある。調査を行う各市町村に県に対しての要望を共有いただき、  
それを踏まえて計画を検討していけば、より良い計画になると思うため、皆様  
にご協力いただきたい。

#### 5 閉 会